

## 「滋賀県酪農・肉用牛生産近代化計画」の改定について

### 1. 趣 旨

滋賀県酪農・肉用牛生産近代化計画は、本県の畜産情勢を踏まえ、今後10年間の酪農および肉用牛生産の健全な発展と生産物の安定供給に向けた取組や施策を示す基本計画である。

今般、農林水産省から新たな「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」が公表されたことにより、「酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律」に基づき改定する。

### 2. 計画期間

令和3年度～令和12年度 5年ごとに見直し

### 3. 経 緯

平成27年4月 平成37年度を目標とする国の基本方針公表

平成28年3月 平成28年度から平成37年度を計画期間とする県計画改定

平成28年4月 県計画に即した市町計画改定(6市町)

令和2年3月 令和12年度を目標とする新たな国の基本方針公表

令和2～3年度 新たな基本方針に基づき県計画を改定

### 4. 今後のスケジュール

令和2年	10月	現状と課題等に係るワーキング
令和3年	3月	環境・農水常任委員会報告(県計画骨子) 関係団体等との意見交換
	6月	環境・農水常任委員会報告(県計画原案)
	7月	県計画原案の国との協議
	9月	環境・農水常任委員会報告(県計画改定について)
	10月	県計画の改定・公表 市町計画作成に係る説明会
令和3年度中		市町計画の改定・公表



# 滋賀県酪農および肉用牛生産近代化計画(骨子)

## はじめに

### <改定の背景>

本計画は、本県の畜産情勢を踏まえ、酪農および肉用牛生産の健全な発展と生産物の安定供給に向けた取組や施策を示す基本計画である。

### <性格>

本県畜産業の施策の展開方向を示すため、滋賀県農業・水産業基本計画を上位計画とし「酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律」に基づき改定する。

### <計画期間>

令和3年度～令和12年度(5年ごとに見直し)

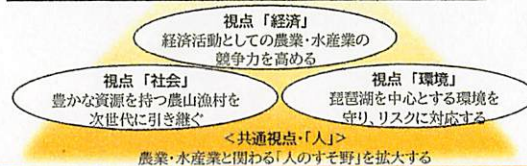
## 基本方針

新たな時代に挑み、新たな時代につながる持続可能な酪農・肉用牛生産基盤の創造

## 目指す10年後の姿

次期 滋賀県農業・水産業基本計画基本理念

県民みんなで創る 滋賀の「食と農」を通じた「幸せ」



## 畜産をとりまく情勢

### 社会情勢の変化

EPA、TPP等、国際経済連携の進展

担い手不足

海外悪性家畜伝染病のリスク

コロナ禍による需要の多様化

ICT技術の普及

環境・気候問題への対応

畜産物需要の増加

## 酪農および肉用牛生産の現状と課題

### 【酪農経営】

- ・高齢化、後継者不足による離農増加
- ・飼料価格の高止まり
- ・乳用初妊牛価格の高騰

	H25年度	H30年度
飼養戸数	68戸	48戸
飼養頭数	3,536頭	2,705頭
生乳生産量	22,869t	17,634t

### 【肉用牛経営】

- ・子牛価格の高値推移
- ・肥育素牛の県外依存
- ・和牛を中心とした規模拡大

	H25年度	H30年度
農家戸数	114戸	89戸
飼養頭数	17,710頭	20,262頭
繁殖経営農家戸数	42戸	42戸
繁殖雌牛頭数	1,117頭	1,851頭

## 政策の方向性

### 需要に応える生産基盤の強化

#### 生産基盤の強化

「経済」「人」

- (1) 畜産経営体の意欲的な増頭・増産への支援
- (2) 中小規模の家族経営を含む収益性の高い経営の育成
- (3) 技術指導やICT技術の普及による経営を支える次世代の人材確保
- (4) キャトル・ステーションを活用した酪農および肉用牛の生産振興と地域内一貫生産の体制強化



#### 需要に応じた生産・供給

「経済」「人」

- (1) コロナ禍を経て多様化する消費者ニーズへの対応
- (2) GAP、HACCPの推進による畜産物の安全・安心に対する消費者の信頼確保
- (3) 地理的表示(GI)として登録された近江牛の県内外への魅力発信
- (4) 滋賀食肉センターを拠点とした輸出の戦略的な拡大



### 次世代に継承する持続的な発展

#### 資源循環型畜産の推進

「社会」「環境」

- (1) 堆肥のペレット化等による広域流通を促進し土づくりの取組を推進
- (2) 自給飼料生産や飼料用米活用などによる飼料自給率の向上を推進



#### リスクに強い畜産経営の確立

「環境」

- (1) 家畜伝染病対策と危機管理体制の充実、強化
- (2) 家畜の快適性に考慮した飼養環境の推進



#### 地域の連携

「社会」「人」

- (1) 畜産クラスター協議会を中心とした地域の連携推進
- (2) コントラクター等の外部組織の利用拡大による耕畜連携の推進
- (3) チーズや乳製品等の6次産業化を通じた畜産を中心とした生産物の高付加価値化

### 飼養頭数等の目標

#### 生乳の生産数量および乳用牛の飼養頭数の目標

現在(平成30年度)			目標(令和12年度)		
総頭数	経産牛1頭あたり年間搾乳量	生乳生産量	総頭数	経産牛1頭あたり年間搾乳量	生乳生産量
頭	kg	t	頭	kg	t
2,705	9,390	17,634	3,000	9,500	19,600

#### 肉用牛の飼養頭数の目標

肉用牛総頭数	現在(平成30年度)				目標(令和12年度)			
	繁殖雌牛	肥育牛	その他	計	乳用種	交雑種	計	
頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	
20,262	1,851	14,016	532	16,399	120	3,743	3,863	

肉用牛総頭数	現在(平成30年度)				目標(令和12年度)			
	繁殖雌牛	肥育牛	その他	計	乳用種	交雑種	計	
頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	
24,020	3,000	16,500	900	20,400	120	3,500	3,620	

※令和12年度目標数値は検討中